



FSS® File Security System



FSS基本パッケージ Ver.10 メジャーバージョンアップ 概要について

- 
- OS対応状況 P. 2
 - バージョンアップ方針 P. 5
 - 追加・更新された主な機能の紹介 P. 7
 - FSS新オプション製品
 - 追加機能紹介
 - 追加ハードウェア紹介
 - 販売終了製品について P. 19

1.対応OSについて①

クライアントOSの対応状況

FSS® File Security System

Windows 10 バージョン 1909/2004 (32/64bit)対応

Windows 10 Build 18363 Ver.1909 / Build 19041 Ver.2004 に 正式対応しました。

【○：対応 / ×：非対応】

FSS製品のOS対応表	8.1 (32/64)	10 (32/64) Ver.1809~2004	備 考
FSS 基本パッケージ Ver.10.0 (Standard/Plus)	○	○	FSS基本パッケージ Ver.10.0より Windows 10 Build 18363 バージョン1909 Windows 10 Build 19041 バージョン2004 (32/64bit) 正式対応
FSS 発行管理パッケージ (FSS Director/FSS Issue Manager)	○	○	新発行管理ソフトウェア「FSS Issue Manager」をご使用に なる場合には、クライアントPC側の「FSS基本パッケージ」は Ver.10.0以上の環境でご使用ください。

- ※ マイクロソフト製品のサポートライフサイクルに合わせて、各OS向けFSSのサポートも終了させて頂いております。
直近では、Microsoft Windows 7, Windows 10 バージョン1803(※1) が終了しました。
- ※ FSS基本パッケージ/Plusのサポート対応は、原則 **Ver.8.0以降** (メジャーバージョン 2世代前まで)とさせていただきます。
- ※ オプション製品につきましては、販売終了から3年間サポート(問い合わせ)対象となります。

※1) Enterprise 及び LTSC/LTSC は、除きます。

1.対応OSについて②

サーバーOSの対応状況

FSS® File Security System

Windows Server OS 対応

Windows Server OSの対応状況

【○：対応 / ×：非対応】

FSS製品のServer OS対応表	Windows Server 2012/R2 (※1)	Windows Server 2016 (※1)	Windows Server 2019 (※1)	備 考
FSS 基本パッケージ Ver.8.0/8.1 (Standard/Plus)	○	×	×	FSS基本パッケージ Ver.8.0より Windows Server OS正式サポート (オプションソフトウェアは含まれません。)
FSS 基本パッケージ Ver.9.0 (Standard/Plus)	○	○	×	
FSS 基本パッケージ Ver.9.1 (Standard/Plus)	○	○	○	
FSS 基本パッケージ Ver.10.0 (Standard/Plus)	○	○	○	

※1) 対象エディション : Standard, Datacenter

- ※ マイクロソフト製品のサポートライフサイクルに合わせて、各OS向けFSSのサポートも終了させて頂いております。
直近では、Microsoft Windows Server 2008/2008 R2が終了しました。
- ※ サーバーOS対応は、FSS基本パッケージ(Plus含む)のみで、オプションソフトは**非対応**となっております。
- ※ ファイル操作ログ等FSS基本パッケージ機能の一部につきましては、マルチユーザー環境非対応となっております。
- ※ WindowsのセキュリティポリシーとFSSのポリシーが重複した場合、予期せぬ動作をする場合があります。
設定を行う場合には、両方のポリシーを確認してから設定を行ってください。

1.対応OSについて③

基本パッケージ及びオプション製品の対応状況

FSS® File Security System

オプション製品対応状況について

FSS基本パッケージ以外のオプション製品のOS対応状況について

【○：対応 / △：一部制限有 / ×：非対応】

No.	FSSオプションソフトウェア等	Windows 8.1		Windows 10 Ver1809~2004		Windows Server OS	
		32bit	64bit	32bit	64bit	32bit	64bit
1	FSS Auditor	○	○	○	○	△	△
2	FSS SmartShredder	○	○	○	○	○	○
3	FSS RD-Filter	○	○	○	○	×	×
4	FSS SmartLogon RD	○	○	○	○	×	×
5	FSS SmartLogon AP	○	○	○	○	○ (Clientのみ)	○ (Clientのみ)
6	FSS SmartLogon MFVA	○	○	○	○	×	×
7	FSS SmartLogon iFace	○	○	○	○	×	×
8	FSS SmartLogon TFPA	○	○	○	○	×	×
9	FSS AppLogon	○	○	○	○	○	○
10	FSS SmartCipher for FileServer	○	○	○	○	○	○
11	FSS Overtime Viewer	○	○	○	○	○	○
12	FSS LogonAnalyzer	○	○	○	○	×	×

※ Windows Server OSの内容については、前項「Windows Server OS 対応」を参照ください。

(2020/10/01 現在)

バージョンアップ方針

(Windows 10 対応について)

2.バージョンアップについて

FSS基本パッケージ Ver.9.0以降のリリース方針について

FSS® File Security System

Windows10に対する FSSバージョンアップの方針

FSS基本パッケージ Ver.10.0以降のリリース方針について

Windows 10に対する弊社製品の今後の対応につきましては、Microsoftのポリシー変更にあわせ、「Build」対応へ移行しております。

Windows 10 Updateについて



今後、Microsoftより新規に提供されるBuildに順次対応していく予定ですが、対応するまでは弊社ソフトウェアが正常に動作しなくなる可能性があります。新規Buildの適用 及び 新規Buildが適用されたPCへのインストールにつきましては、ご注意ください。

弊社といたしましては、Semi-Annual Channel Targeted(旧CB:機能リリースから最長4ヶ月以内更新が提供されるモデル)ではなく、Semi-Annual Channel(旧CBB:機能リリースから最長8か月以内に更新が適用されるモデル)または、Long-Term Servicing Channel(旧LTSC:最長10年間同じバージョンを使用出来るモデル)を推奨いたします。

詳細につきましては、<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt598226.aspx> をご参照ください。

● 注意！

- 動作確認対象製品でも、Windows 10上で一部利用できない可能性があります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 新規Buildを適用される場合は、一旦FSSをアンインストールいただき新規Build適用後に、適用Build対応版FSSのインストールを行ってください。

追加・更新された主な機能の紹介

（ Ver.10 から追加・更新になった機能 ）

3.FSS新オプション製品①

「FSS SmartLogon」機能拡張（指紋センサー搭載ICカード対応）

FSS® File Security System

FSS SmartLogon TFPA

指紋センサー搭載ICカードで本人確認ができるようになります。

FSSで使用出来るICカードに、東芝インフラシステムズ株式会社製指紋センサー搭載ICカードを追加しました。
二要素認証(ICカード + パスワード)機能の「FSS SmartLogon」に、指紋センサー搭載ICカードを利用することで、
より利便性高く厳格なユーザー認証ができるようになります。

指紋の認証には専用のデバイスを別途用意する必要が無く、ノートパソコン等モバイル環境下でもご使用頂けます。

また、指紋情報の登録では、各個人が所有するICカード内に自分の指紋情報が格納されます。

ICカード内で認証するオンカードマッチング方式のため、認証サーバーを必要としません。

セキュリティ機能付のICカードの為、指紋情報自体の漏えいのリスクも低く、サーバーやパソコン内に格納する仕組みに比べ大量に漏洩する危険もありません。

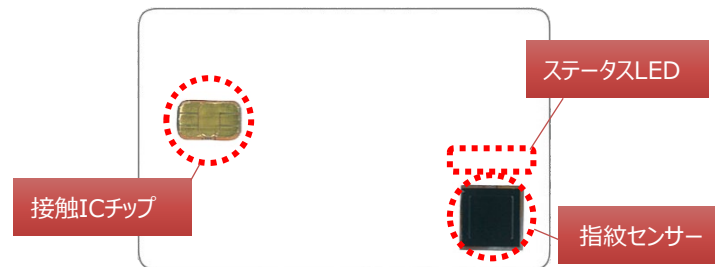
1 台からの導入はもちろん、容易に拡大・展開が可能です。

また、既存のFSSユーザーのICカードでも利用でき、より厳格な本人認証が必要な端末への限定利用も可能です。

これにより、ICカードの貸し借りによる不正利用の防止が可能となります。

- 本機能は、端末単位に設定が出来ます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。

「FSS KeyService」	Ver.10-5-3 以上
「FSS SmartLogon」	Ver.8-3-4 以上
「FSS SmartLogon TFPA」	Ver.1-0-1 以上
(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)	



● 注意！

- 指紋センサー搭載ICカードを使用するには、別途オプションソフトウェア「FSS SmartLogon TFPA」が必要です。
- 指紋センサー搭載ICカードの発行は、新発行ソフトウェア「FSS Issue Manager」で発行する必要があります。「FSS Director」で発行した場合、指紋センサー機能を使用することが出来ません。
- 指紋センサー搭載ICカードは、15回連続で認証に失敗するとロックします。

3.FSS新オプション製品②

FSS"新"発行管理ソフトウェア

FSS® File Security System

FSS Issue Manager

FSS発行管理パッケージの発行管理ソフトウェアが新しくなります。

2004年より提供している「FSS発行管理ソフトウェア」が16年振りにリニューアルします。
操作方法は基本そのままに、発行のテンプレート作成等使いやすくインターフェースを刷新しました。

オフライン更新についても、複数回の発行がロックの原因となっていました、今回より1世代分のみの作成となります。
また、オフライン更新の適用状況を自動的に取得出来るようになりました。
(オフライン更新用ソフトウェア「FSS Issue Manager Client」も追加されました。)

従来通り、「FSS Director」も継続してご使用頂けますが、指紋センサー搭載ICカードをご使用になる場合には「FSS Issue Manager」をご使用ください。

「FSS Director」と「FSS Issue Manager」は共存することが出来ますが、
混在環境の場合、カードの発行・更新作業時に混乱する可能性がありますのでご注意ください。

- 使用するには、次のソフトウェアが必要です。

「FSS KeyService」	Ver.10-5-3 以上
「FSS Issue Manager」	Ver.1-0-1 以上
(FSS発行管理パッケージ Ver.10 以上)	

● 注意！

- 「FSS Issue Manager」で発行・更新した認証キーは「FSS基本パッケージVer.10」より前のバージョンではご使用いただけません。
- 「FSS Director」から「FSS Issue Manager」に移行する場合、事前に既存FSSクライアントPCのバージョンアップ(Ver.10以上)を行う必要があります。(「FSS KeyService」 Ver.10-5-3 以上 / 「FSS SmartLogon」 Ver. 8-3-4 以上)
- 「FSS Director」と「FSS Issue Manager」は発行データの管理方式が異なります。
「FSS Issue Manager」をご使用になる場合には、データコンバートツールをご使用ください。
- 今回リリースバージョンは、「FSS Director」「FSS Issue Manager」の両方が含まれます。
- オフライン更新用クライアントソフトウェアも変更になります。
「FSS Issue Manager」用の更新ソフトウェアは「FSS Issue Manager Client」を使用してください。
「FSS SocketServer」は共通して使用出来ますが、最新版(Ver.3-0-1以降)へのアップデートが必要です。

3.FSS新オプション製品③

テレワーク等端末向けアプリケーションログオン機能

FSS® File Security System

FSS AppLogon

「FSS SmartLogon」のアプリケーション機能が独立

「FSS SmartLogon」のアプリケーションログオン機能が独立しました。

テレワーク等でリモートから接続する場合に、リモート接続用アプリケーションに対して、アプリケーションログオン機能を使用したいが、接続元の端末で「FSS SmartLogon」の2要素認証画面は出たくない等のご要望に対応しました。

「FSS SmartLogon」の機能と重複になる為、「FSS AppLogon」と「FSS SmartLogon」は併用・共存できません。

「FSS基本パッケージ」に含まれるソフトウェアで「FSS SmartLogon」以外のソフトウェア(FSS SmartCipher等)と同時使用を希望される場合には「FSS基本パッケージ」インストール時のウィザード画面で「FSS SmartLogon」がインストールされないようチェックを外してインストールを行ってください。

- 使用するには、次のソフトウェアが必要です。

「FSS KeyService」	Ver.10-5-3 以上
「FSS AppLogon」	Ver.1-0-1 以上
(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)	

● 注意！

- 「FSS AppLogon」と「FSS SmartLogon」は併用(共存)できません。
- 使用するには、認証キーに「ユーザーエリア」が発行されている必要があります。
アプリケーションログオン機能と「FSS AppLogon」で使用するエリアは同一エリアになります。
- 配布用アプリケーションリストファイル(Fssaplg4.dat)は、「FSS SmartLogon」と同じになります。
個別に作成した場合「FSS SmartLogon」「FSS AppLogon」で管理が煩雑になる為、
共通ファイルを使用し登録番号での使い分けを推奨します。

4.追加機能紹介① (Ver.10 から)

Windows 10 Build 18363 Ver.1909 / Build 19041 Ver.2004 対応

FSS® File Security System

Windows 10 Ver.1909/2004 対応

Windows 10 Build 18363 Ver.1909 / Build 19041 Ver.2004 に対応しました。

サインインにCtrl+Alt+Deleteが必要なポリシー設定時に発生するロック問題について対応しました。

FSS 基本パッケージ Ver.9.1

Windows 10

Build 17763 バージョン 1809

Build 18362 バージョン 1903

Build 18363 バージョン 1909

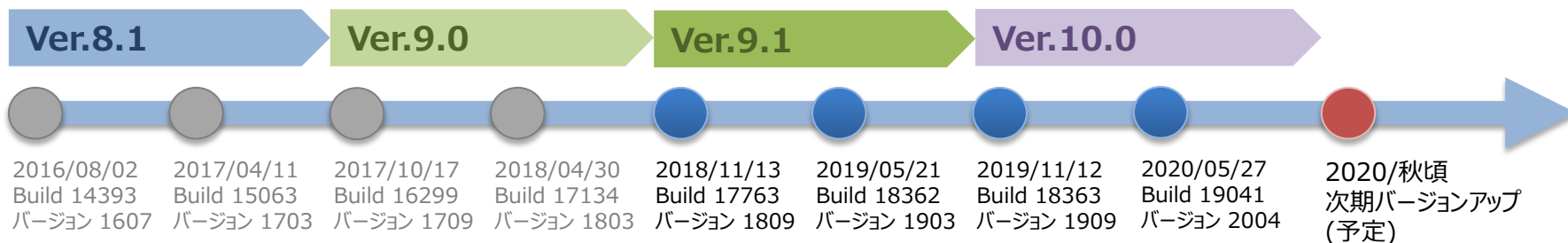


FSS 基本パッケージ Ver.10.0

Windows 10

Build 18363 バージョン 1909

Build 19041 バージョン 2004



● 注意！

FSSをインストールしたままの状態です「Windows 10 Update」を適用した場合、FSSが正常に動作しないことを確認しております。
アップデートを行う場合、事前にFSSを一度アンインストール(要再起動)頂き、「Windows 10 Update」適用後に、再度FSSをインストール頂きますようお願いいたします。

4.追加機能紹介② (Ver.10 から)

「FSS SmartLogon」機能拡張

FSS® File Security System

Windowsセーフモード対応機能

Windows セーフモード時でも、事前に指定されたアカウント以外は拒否

通常、Windowsをセーフモードで起動した場合、OSの主要なコンポーネント以外は動作しない為「FSSアプリケーション」も起動できませんでした。

その為、「FSS SmartLogon」を非連動運用している場合等、Windowsアカウントを把握している利用者による、管理者が想定しないサインインが発生する可能性があります。

今回追加された本設定を追加することで、Windowsがセーフモードで起動された際、登録されたアカウント以外でのWindowsへのサインインを拒否できるようになり、管理者が想定しないアクセスを未然に防ぐことが出来るようになります。

設定出来るユーザーは1アカウントまでとなります。

- 本機能は、端末単位に設定出来ます。
- 使用するには、次のソフトウェアが必要です。
「FSS KeyService」
「FSS SmartLogon」
(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)

Ver.10-5-3 以上
Ver.8-3-4 以上



● 注意！

- 登録するアカウントは、管理者権限ユーザーで有効なユーザーを設定してください。また、登録する管理者ユーザーでサインイン出来るか事前に確認をしてください。
- 登録できる管理ユーザーは“1ユーザー”だけになります。
- 設定は、インストール前のiniファイルによってのみ設定可能です。

4.追加機能紹介③ (Ver.10 から) 「FSS SmartCipher for Fileserver」 機能拡張

FSS® File Security System

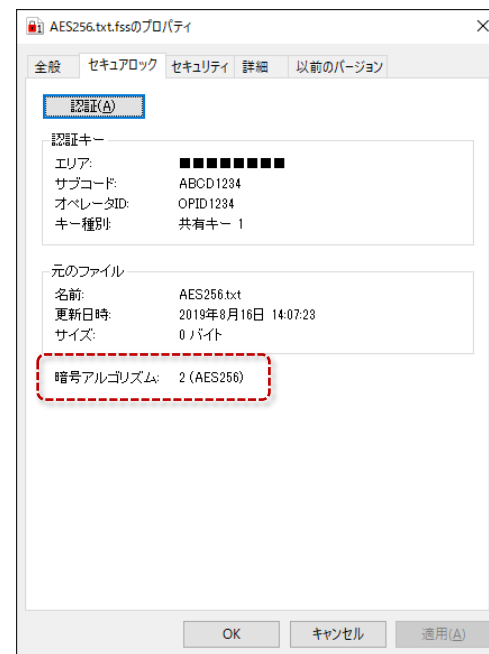
暗号アルゴリズム「AES-256」対応

「AES (Advanced Encryption Standard)」 256bitに対応しました。

FSS SmartCipher for Fileserver の暗号アルゴリズムに「AES-256」を追加しました。
従来の「SXAL/MBAL」及び「AES-128」も継続してご使用頂けます。

- 使用するには、次のソフトウェアが必要です。

「FSS KeyService」	Ver.10-3-4 以上
「FSS SmartCipher for Fileserver」	Ver.3-1-5 以上
(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)	



● 注意！

- 設定の変更には「FSS SmartCipher for Fileserver」の再インストールが必要です。
- 「SXAL/MBAL」「AES-128」混在環境でもご使用頂けますが、「AES-256」で暗号化されたファイルは、古いFSS SmartCipher(AES-256未対応バージョン[Ver.3-7-1未満])端末で復号が出来ません。
- 「SXAL/MBAL」「AES-128」で暗号化されているファイルを「AES-256」で再暗号化したい場合、対象のファイルをすべて「FSS SmartCipher」で1度復号し、「FSS SmartCipher for Fileserver」で再暗号化してください。

4.追加機能紹介④ (Ver.10 から)

「FSS KeyService」 機能拡張

FSS® File Security System

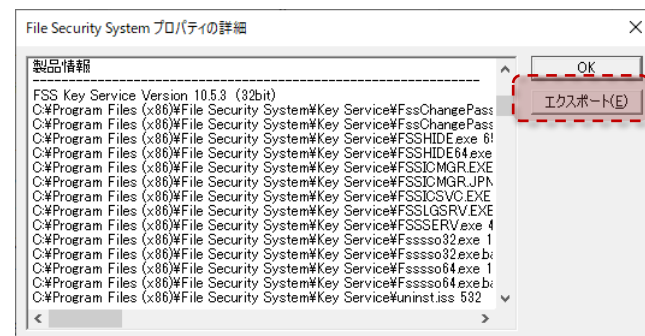
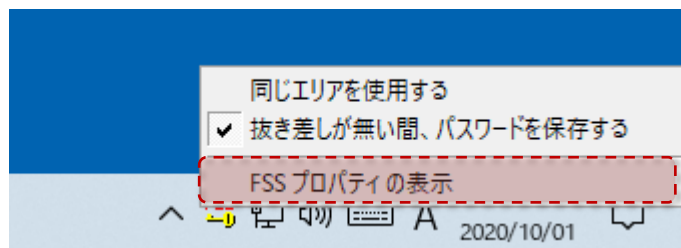
FSSプロパティの変更

コントロールパネルを経由せず、FSSプロパティを直接表示できるようになります。

FSSインストール製品の各バージョン確認や、障害発生時用の情報を出力する「FSSプロパティ」について従来はコントロールパネル経由でしか表示できませんでしたが、今回タスクバーから直接起動できるようになりました。

また、「File Security Systemプロパティの詳細」画面について、情報出力をクリップボードから直接ファイルに出力出来るよう対応しました。障害発生時の情報取得等にお役立てください。

- 使用するには、「FSS KeyService」 Ver.10-5-1 以上が必要です。
(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)



- **注意 !**
 - タスクバーの通知領域から「FSSプロパティ」を起動する場合は、右クリックメニューから表示してください。
※主に使用するボタンが「左」設定の場合。
 - タスクバーの通知領域に「FSS KeyService」アイコンが表示されない場合には「」アイコンをクリックして隠れたアイコンを表示させてください。
また、タスクバーの設定から「FSS KeyService」アイコンを常時表示に設定することも可能です。
(設定→タスクバー→タスクバーに表示するアイコンを選択します→「FSS Key Service」の設定を「ON」に変更)
 - 本設定について、非表示オプションはありません。

4.追加機能紹介⑤ (Ver.10 から) 「FSSログオンユーザー登録」機能拡張

FSS® File Security System

ログオンユーザー登録ツール

「ユーザーはパスワードを変更できない」チェックが入らない問題に対応しました。

Windows Server 2016/2019上で、Active Directoryに対してユーザー登録を行った際に「ユーザーはパスワードを変更できない」にチェックが入らなかった問題について対応を行いました。
また、修正とあわせてインターフェースが一部変更になっております。

- 使用するには、「FSSログオンユーザー登録」Ver.2-0-1 以上が必要です。
(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)

The screenshot shows a Windows dialog box titled "FSS ログオンユーザー登録 - ローカルPCに登録 - LMハッシュを保存しない". It contains a "ファイルを開く..." button at the top right. Below is a text field for "登録先:" with the value "DESKTOP-APS5M9Q". A list box for "グループ:" contains the following items: Access Control Assistance Operators, Administrators, Backup Operators, Cryptographic Operators, Device Owners, Distributed COM Users, and Event Log Readers. There are two checkboxes: "指定したグループに置き換える" (unchecked) and "指定したコメントとフルネームに置き換える" (checked). At the bottom, there is a table with two columns: "ユーザー名" and "結果". The table is currently empty. At the bottom right, there are "登録" and "終了" buttons.

● 注意！

- 本ツールは、「FSS発行管理パッケージ」に含まれます。
単体での販売・配布は行っておりません。

5.追加ハードウェア紹介① (Ver.10 から)

新ICカード(指紋センサー搭載)のご紹介

FSS® File Security System

指紋センサー搭載ICカード

今後出荷するICカード(ICチップ)が変更になります。

FSSで使用出来るICカードに、東芝インフラシステムズ株式会社製指紋センサー搭載ICカードを追加しました。

指紋情報は、ICカード1枚に付き2本迄登録が可能です。

ICカード内で認証するオンカードマッチング方式のため、認証サーバーを必要としません。

また、認証の際、指の方向は360度どの方向からでも認証頂けます。

- 使用するには、次のソフトウェアが必要です。

「FSS KeyService」

Ver.10-5-3 以上

「FSS SmartLogon」

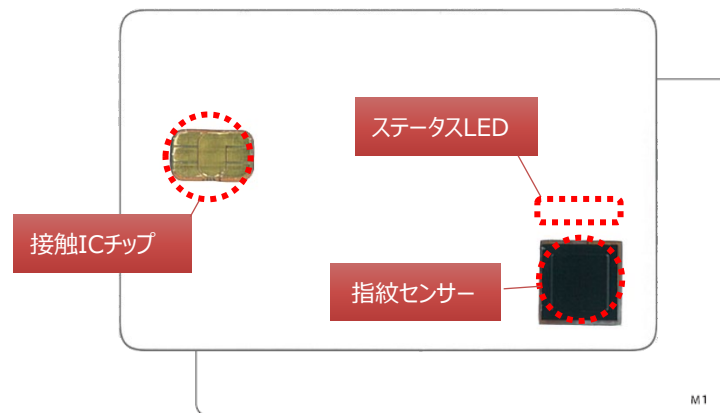
Ver.8-3-4 以上

「FSS SmartLogon TFPA」

Ver.1-0-1 以上

(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)

カード材質	PET-G
動作電圧	3V/5V
メモリ寿命	書き込み回数10万回またはデータ保存期間10年(25℃)の内 どちらか早く到達した期間



● 注意 !

- 指紋センサー搭載ICカードをご使用になる際には、新発行ソフトウェア「FSS Issue Manager」をご使用ください。「FSS Director」で発行した場合、指紋認証機能をご使用頂けません。
- 指紋センサー搭載ICカードをご使用になる際には、別途「FSS SmartLogon TFPA」が必要です。
- 指紋センサー搭載ICカードは券面の素材・加工が特殊なため、現在券面印刷を行う事ができません。券面印刷のご注文については承ることが出来ませんので予めご了承くださいますようお願いいたします。今後、券面印刷ができるようになった際には、弊社ホームページでご案内いたします。

5.追加ハードウェア紹介② (Ver.9.1 から)

新ICカード (ICチップ) のご紹介

FSS® File Security System

新接触 ICカード(K4)

今後出荷するICカード(ICチップ)が変更になります。

FSSで採用しております認証キー(ICカード)につきまして、東芝インフラシステムズ株式会社製ICチップの取扱を開始いたしました。

今後、出荷カードをこちらのカードへ順次変更する予定です。

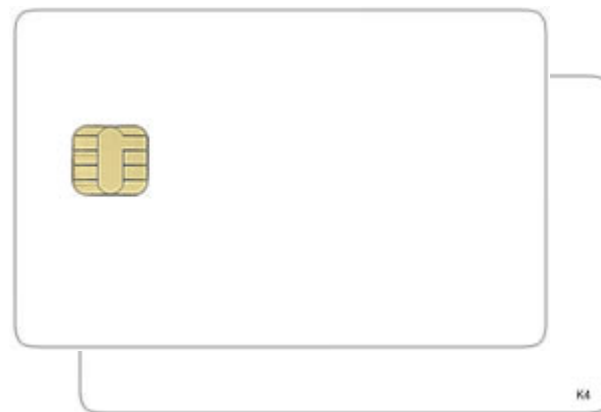
ご使用には、「FSS KeyService」のバージョンアップが必要になります。

その為、1年以内を目安にFSSソフトウェアのバージョンをアップデート頂きますようお願いいたします。

※現在販売中のカードにつきましても継続サポートいたします。

- 使用するには、「FSS KeyService」 Ver.10-3-4 以上が必要です。
(FSS基本パッケージ Ver.9.1以上)

カード材質	PET-G
動作電圧	3V/5V
使用環境	-5～+40℃、湿度60%RH以下であること。
保存環境	-10～+50℃、湿度60%RH以下であること。
メモリ寿命	書き込み回数10万回またはデータ保存期間10年(25℃)の内 どちらか早く到達した期間



● 注意！

- 新ICカードのご使用には、「FSS KeyService」Ver.10-3-4 以上が必要になります。
ご使用頂く際には、「FSS KeyService」のバージョンにご注意ください。
- FSS保守未加入のお客様等で最新版のソフトウェアをお持ちにならないお客様につきましては、
申し訳ございませんが、新ICカードをご使用頂くことが出来ません。
ICカードの追加ご依頼時なるべく旧カードを出荷するように手配いたしますが、在庫限りとなりますので、
それ以降につきましてはソフトウェアライセンスのお買い直し頂きますようお願いいたします。

5.追加ハードウェア紹介③ (Ver.10 から)

USBトークン型認証キー後継機種決定

FSS® File Security System

CryptoMate EVO-LA

IDProtect Key Nano の後継機種が決まりました。

USBトークン「IDProtect Key Nano」が供給元の生産終了に伴い在庫限りの販売となっており後継製品について選定をしておりましたが、この度、Advanced Card Systems社製USBトークン「CryptoMate EVO-LA」に決定しましたのでお知らせいたします。引き続き、「IDProtect Key Nano」の販売は継続いたしますが、弊社の在庫がなくなり次第、販売を終了させていただきますので予めご了承ください。

- 使用するには、「FSS KeyService」 Ver.10-5-1 以上が必要です。
(FSS基本パッケージ Ver.10 以上)

	CryptoMate EVO-LA	IDProtect Key Nano
寸 法	(長さ) 29.18 mm (横幅) 14.50 mm (高さ) 10.54 mm	(長さ) 33.00 mm (横幅) 16.00 mm (高さ) 6.00 mm
重 量	4.61 グラム	2.1 グラム
動作温度範囲	0-50 °C	0-40 °C



● 注意！

- 「IDProtect Key Nano」と違い、「CryptoMate EVO-LA」のご使用には事前にドライバーのインストールが必要です。
- 本製品は、FSS用カスタマイズモデルになるため、電子証明書等の機能はございません。
- USBトークンの過度の抜き差しや、無理な力が加わることにより、USBポートが破損する可能性があります。ご使用の際には、無理な力を加えないようご注意ください。
USBポートの故障につきましては、保証いたしかねますので、予めご承知くださいますようお願いいたします。

6.販売終了製品について①

販売終了製品(ソフトウェア)のお知らせ

FSS® File Security System

販売終了製品(ソフトウェア)について

販売終了になったオプションソフトウェアについて

(2020/10/30 現在)

No.	販売終了ソフトウェア	備 考
1	P-Lock	2014年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2017年03月末」で終了しております。
2	FSS DesktopShield	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。
3	FSS SmartProxy Client	2016年 03月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様へのサポート(※1)は、「2019年03月末」で終了しております。
4	FSS SmartProxy Server	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。
5	FSS SmartWTS	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。
6	FSS RemovableDisk Cipher	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。 また、保守ご加入中のユーザー様は、 無償で「FSS SmartLogon RD」へ移行が可能 です。 ※自動移行ではない為、ユーザー様からのご依頼が必要になります。
7	FSS ED-S Logon	2016年 03月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様へのサポート(※1)は、「2019年03月末」で終了しております。
8	FSS SmartEFD	2017年 03月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様へのサポート(※1)は、「2020年03月末」で終了となります。
9	FSS VPNConnect	2019年09月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様へのサポート(※1)は、「2022年09月末」で終了となります。
10	FSS基本パッケージ (個人情報漏えい保険付き)	2020年09月末 販売終了 保守ご加入中ユーザー様への保険提供は、ご加入中の保守期間終了日までとなります。
11	マイナンバーパッケージ (個人情報漏えい保険付き)	2020年09月末 販売終了 (個人情報漏えい保険が付属しないマイナンバーパッケージは、継続して販売中です。) 保守ご加入中ユーザー様への保険提供は、ご加入中の保守期間終了日までとなります。

(※1) バージョンアップの提供(瑕疵等によるプログラムの改修を含む)を除く、問い合わせ時の対応のみとなります。

6.販売終了製品について②

販売終了製品(ハードウェア)のお知らせ

FSS® File Security System

販売終了製品(ハードウェア)について

販売終了になったハードウェアについて

(2020/10/30 現在)

No.	販売終了ハードウェア	備 考
1	ICカードR/W USB型 (SCR331/SCR3310) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。
2	ICカードR/W PCMCIA型 (SCR243) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。
3	ICカードR/W SIMサイズカード型 (SCR3320) 	2016年 9月末で販売を終了させて頂きました。 SIM型後継機種につきましては、現在選定中です。決まり次第弊社ホームページでご案内いたします。
4	ICカードR/W SIMサイズカード型 (SCR38T-D1) 	2016年 9月末で販売を終了させて頂きました。 SIM型後継機種につきましては、現在選定中です。決まり次第弊社ホームページでご案内いたします。
5	指静脈認証ユニット (FVA-U2SX / FVA-U2SXA) 	供給元製造終了により、弊社在庫がなくなり次第の販売終了を予定しております。 FVA-U3SXにつきましては、継続して販売いたします。
6	ICカード プレ印刷型 (共同印刷社製 接触ICカード) 	2016年 9月末で 販売を終了となっております。
7	USBトークン型 (IDProtectKey nano) 	供給元製造終了により、弊社在庫がなくなり次第の販売終了を予定しております。
8	ICカードR/W ExpressCard/54型 (SCR3340) 	供給元製造終了により、弊社在庫がなくなり次第の販売終了を予定しております。
9	ICカードR/W USB型 (ACR38U-I1/ACR38U-IPC) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。
10	ICカードR/W USB型 (ACR38U-I1LALA112C) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。 詳細は、 http://lis-fss.co.jp/support/170703.html をご参照ください。